

お茶の水女子大学 公開連続講演会「リーダーシップ論」第九回
「スペシャルタナールェクチャー」スペシャルゲスト講演

「未来を担う若き友人たちへ」

遠山 敦子

元文部科学大臣

トヨタ財団理事長

お茶の水女子大学名誉博士



お茶の水女子大学

目次

はじめに

講演「未来を担う若き友人たちへ」

第一章 今、世界や日本が直面する問題は何か

第一節 驚きとともにスタートした、私の21世紀

◆ 私が文部科学大臣に!?

◆ 9・11事件

第二節 世界が直面している問題

第三節 日本が直面している問題

第二章 こうした未来を誰が担うのか

—— 日本での女性の活躍への期待 ——

第一節 難問の出現Ⅱ活躍の場と捉える

第二節 国際比較でみた日本の女性の社会的地位

◆ ジェンダー・ギャップ指数の示すもの

◆ 研究者に占める女性割合

◆ 管理的職業従事者に占める女性割合

第三節「女性の輝く社会」の実現には何が必要か

◆ ある経験から — 私の就活

◆ 男女共同参画社会を推進する国内外の動き

◆ まずは女性自身の意識、そして、条件の整備が大事

第三章 人はどのように生き、どう仕事すべきか

—— 若者へのメッセージ ——

第一節 私の生き方の土台となった母の言葉

第二節 仕事を通して輝くために

◆ 全力投球でやり通す

◆ チャレンジ精神、そしてロマンを大切に

◆ 「世のため、人のため」という信念の大切さ

—— 緒方貞子さんの決断力と勇氣 ——

第四章 未来のリーダーとなる「あなた」へ

第一節 「英知」ある人に

第二節 「ハード・チョイス」を厭わないで

第三節 「自信」と「誇り」をもって、世界にはばたけ

はじめに



本誌には、2016年5月18日に開催された『スペシャルタナーレクチャー』において、本学の名誉博士でもいらっしゃる元文部科学大臣の遠山敦子様が『未来を担う若き友人たちへ』と題してご講演くださった内容を、本学のグローバルリーダーシップ研究所による「リーダーシップ論」第九回として収載させていただきました。

『スペシャルタナーレクチャー』とは、世界を代表する欧米の9大学で約40年にわたって開催されてきた権威ある「タナーレクチャー (Tanner Lectures)」の特別版として数年に一度9大学以外で開催されるもので、本学が日本で初めての開催大学として選ばれました。これは本学にとって大変名誉あることです。

「タナーレクチャー」は、米国の学者、実業家、慈善家であるオバート・クラーク・タナー (Obert Clark Tanner) 氏によって1978年に設立され、英国のオックスフォード、ケンブリッジの2大学、米国のスタンフォード、カリフォルニア大学バークレー校、ユタ、ミシガン、ハーバード、イェール、プリンストンの7大学の学長を構成員とする「タナーレクチャー委員会」によって運営されています。「Human Value」についての学術的かつ科学的取り組みにおいて、国際的に際立った功績と傑出した能力をお持ちの方を迎えて開催されるもので、ノーベル賞受賞者や政治・経済・文化・社会活動等の分野で大きな影響力を持つ方々が、毎回、講師を務めています。

本学は、1875年に女性のための高等教育機関として設置されて以来、140年余にわたってわが国の女子教育を先導する役割を果たしてきました。その歴史の

中で、多様な分野で活躍する優れた女性たちを育ててきましたが、今回の名誉は、その実績が「タナーレクチャー委員会」から高く評価された結果です。特に、本学がミッションとして掲げている「国籍や年齢を問わず女性たちの資質能力の開発を支援し、グローバルに活躍する女性リーダーを育成する」ことが委員会の方々にも認知され、「グローバル女性リーダー育成研究機構」や「グローバルリーダーシップ研究所」における活動を、世界の女性たちに道を拓く活動として評価していたことは、とても嬉しいことでした。

本学にとって大きな意義を持つこの機会に、社会の固定観念に囚われずにリーダーシップを発揮され、女性たちが活躍できる社会作りに大きな貢献をされて来られたケンブリッジ大学ニューナム・カレッジ学長のキャロル・ブラック (Carol Black) 様と、元文部科学大臣の遠山敦子様をお招きして、21世紀を担う若い女性達に向けて、ご講演をお願いすることに致しました。当日、本学講堂(徽章堂)は1200名を超える参加者で溢れ、お二人のご経験に基づくご講演を通して、「多くの課題が山積する21世紀の世界で、人として如何に生きるべきか」との命題をご一緒に考える機会をいただきました。

遠山様は、ご講演の中で、現在の世界と日本が直面している課題を取り上げ、そうした課題を解決するための女性たちの活躍への期待を述べられました。常に新たな領域においてパイオニアとしての道を歩んでいらっしゃったご自身の経験に基づいた「人はどのように生き、どう仕事をすべきか」とのお話は、遠山様の信念ある

生き方の基本をお示くださるものでした。トルコ大使でいらつしやった頃に起こった大地震の際に、日本から仮設住宅を輸送されたことなど、世のため人のために、失敗を恐れず挑戦される遠山様の毅然とした仕事への姿勢を拝聴することができて、心打たれた参加者も多かったことと思います。さらに若い人々に向けて「英知ある人に」、「ハード・チョイスを厭わないで」、「自信と誇りをもって世界に羽ばたけ」との素敵なメッセージを送っていただきました。

本誌を手にとられた皆様には、遠山様のお話を通して、自分たちが21世紀の世界と日本において、人々が平和で幸せな生活を送るために何ができるかを考えていただきたいと思います。そして、自ら創出すべき輝く未来に想いを馳せていただきたいと願っています。

未来を担い、世界に羽ばたく皆様の活躍を期待しつつ、本誌をお手許にお届け致します。

(注) キャロル・ブラック学長のご講演は、本学のホームページと「The Tanner Lectures on Human Values (事務局：ユタ大学)」のホームページに掲載されています。

国立大学法人 お茶の水女子大学長

室伏 きみ子

公開連続講演会「リーダーシップ論」第九回

「スペシャルタナレクチャー」スペシャルゲスト講演

「未来を担う若き友人たちへ」

遠山 敦子 元文部科学大臣 トヨタ財団理事長 お茶の水女子大学名誉博士



遠山 敦子 氏 略歴

1962 年、東京大学法学部卒業後、文部省初の女性キャリアとして入省。高等教育局長、文化庁長官、駐トルコ共和国日本国大使、国立西洋美術館長を経て、2001 年、小泉内閣の文部科学大臣に就任。その後、新国立劇場運営財団理事長を務めた。

2015 年にはお茶の水女子大学より名誉博士号を授与された。

現在は、トヨタ財団理事長、日本いけばな芸術協会会長など。著書に『トルコ 世紀のはざまで』『こう変わる学校 こう変わる大学』『来し方の記』ほか。

書 名	お茶の水女子大学 公開連続講演会 「リーダーシップ論」第九回 「スペシャルタナーレクチャー」スペシャルゲスト講演 「未来を担う若き友人たちへ」 講師：遠山 敦子
発行日	2016 年 12 月 26 日
編集・発行	国立大学法人 お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 TEL 03-5978-5520 E-mail info-leader@cc.ocha.ac.jp URL http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/
編集協力	特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会
印刷所	光写真印刷株式会社
